

## 第3学年2組 音楽科学習指導案

### 1 題材名 明るい歌声をひびかせよう

### 2 題材について

本題材は、小学校学習指導要領解説音楽編 A 表現 (1) 歌唱 ア 「範唱を聴いたり、ハ長調の楽譜を見たりして歌うこと。」、イ 「歌詞の内容、曲想にふさわしい表現を工夫し、思いや意図をもって歌うこと。」、ウ 「呼吸及び発音の仕方に気を付けて、自然で無理のない歌い方で歌うこと。」、エ 「互いの歌声や副次的な旋律、伴奏を聴いて、声を合わせて歌うこと。」、に関連している。本題材では、階名で視唱や視奏をして、読譜に慣れ親しみ、表現を工夫することをねらいとしている。

本学級は歌うことが好きな児童が多い。今まで学習してきた曲を大事にする様子が見られる。特に合唱曲「ふるさと」に懸ける思いは大きく、美しく歌い上げている。その一方で、階名が苦手な児童が多いと思われる。歌詞で歌うことだけでなく、階名で歌うことに慣れ親しんでほしい。

本題材では、ハ長調の音階に慣れるとともに、視唱や視奏をする楽しさを感じ取るような工夫を行う。そのためにフラッシュカードで階名に慣れ、繰り返し練習することで、本題材に出てくる階名部分を正しい音程で歌えるようにする。また、視唱や視奏を通して、旋律の特徴を表現しながら演奏する楽しさに気づくようにしていく。

### 3 題材の目標

- ハ長調の楽譜に親しみ、音程に気を付けて階名で視唱したり、視奏したりして読譜に慣れ親しむようにする。
- 自然で無理のない歌い方に親しみ、友達と一緒に歌う楽しさを味わう。

### 4 教材の選択(◎は本時で扱う教材)

- 「友だち」(歌唱)作詞・作曲 秋間 ゆう子

大切な友達への思いが描かれており、温かさにあふれている。新学期に、新しいクラスの友達と仲良く明るく過ごそうという気持ちを表現するのに適した教材である。

- 「ドレミで歌おう」(楽器演奏)作詞 小原 光一 作曲者 不明

階名について学習できる元気で明るい曲である。歌詞や階名で歌ったり、鍵盤楽器の指くぐりや指またぎを練習したりするのに適した教材である。

- 「春の小川」(歌唱)文部省唱歌 作詞 高野 辰之 作曲 岡野 貞一

aa'ba'の二部形式。小川の流れる穏やかな春の情景が想起される。身近な自然を大切にす  
る気持ちを持ち、春のあたたかな雰囲気表現するのに適した教材である。

- ◎「海風きって」 作詞 高木 あきこ 作曲 石桁 冬樹

ABAの三部形式。弾むような旋律で作られたアとなめらかな旋律で作られたイの旋律の違いが明確である。違いを表現する楽しさや、二つの旋律を重ねた時のハーモニーの面白さを感じ取るのに適した教材である。

○「茶つみ」 文部省唱歌

ABACの三部形式。茶摘みの様子をテンポよく表現した曲である。手遊び歌としても親しまれている。ペアで元気よく手遊びをし、明るくのびのびとした歌声を目指すのに適した教材である。

5 本題材で主に扱う〔共通事項〕と学習の関わり

〔共通事項〕ア	旋律	音階	フレーズ
〔共通事項〕イ		ト音記号	ブレス 縦線 終止線
主な学習活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・旋律の違いを感じ取り、表現の工夫をする。</li> <li>・音の重なる面白さを感じ取って演奏する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・フラッシュカードで階名に慣れ、階名で歌う楽しさを感じながら表現を工夫する。</li> <li>・階名唱を行い、ハ長調の音階に慣れる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・精一杯歌うと苦しくなる経験をし、ブレスの必要性を理解し、表現に生かす。</li> <li>・曲の流れが分かり、フレーズを意識して、表現の工夫をする。</li> </ul>

6 題材の指導計画(8時間扱い)

- ・「友だち」を歌詞唱する。 . . . . 1時間
- ・「ドレミで歌おう」を歌詞唱や階名唱する。 . . . . 1時間
- ・「春の小川」を歌詞唱する。 . . . . 1時間
- ・「海風きって」を歌詞唱や鍵盤楽器演奏、作曲する。 . . . . 3時間(本時 2/3時間)
- ・「茶つみ」を歌詞唱、手遊び歌をする。 . . . . 2時間

7 指導と評価の計画

(1) 目標

○演奏したり、友達の演奏を聴いたりして、表現を工夫しようとする。

(2)本時で扱う〔共通事項〕：ア 音色 音階 旋律 /イ v(ブレス)

(3)展開(2/3時)

学習内容・学習活動	<div style="border: 1px solid black; width: 20px; height: 10px; display: inline-block; margin-right: 5px;"></div> 内は学習活動に即した評価規準 指導上の留意点（・）評価方法【 】	時間
1 前時の振り返りをする。 ・曲調を思い出すために、2回歌う。 ・イを繰り返し階名視唱する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アは弾むようなリズム、イはのびやかなリズムであることを児童に質問をして確認することで、違いを表現できるようにする。</li> <li>・ブレスができていないか確認することで、フレーズ感をもつようにする。</li> <li>・イの階名視唱を正しい音程で歌えるようにするために、イの部分だけを抜き出して2、3回歌うようにする。</li> </ul>	5'
2 鍵盤楽器で演奏する。 ・一度全員で演奏する。 ・川ごとに演奏する。 ・女子ごと、男子ごとに演奏する。 ・友達の発表を聴く。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・イの落ち着いていて、流れるような感じを出すために、二分音符の部分で息を吸わないように促す。</li> <li>・苦しくならないように、ブレスは四部休符でとるようにする。</li> <li>・友達の演奏を聴いて、自分の演奏に繋げるために、川ごとまたは女子と男子などに分けて演奏する。</li> <li>・発表するときは、息づかいがしやすいように、立って姿勢よく演奏するようにする。</li> <li>・友達の発表を聴くときは、自分の楽器を弾かないように、下に置くようにする。</li> </ul>	15'
4 アとイのグループに分けて演奏する。 ・1と2の川はア、3と4の川はイを演奏する。 ・役割を逆にして演奏する。 ・友達の発表を聴く。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アとイの歌い方、弾き方を再確認するようにし、自分のパートの特徴に意識して演奏するようにする。</li> <li>・列ごとに演奏するようにし、友達の演奏を聴いて、友達のよいところを、自分の演奏に結び付けるようにする。</li> <li>・ピアノで右手はア、左手はイを一緒に弾いて、何を弾いているのか気づくようにし、実際に合わせてみると、どのような響きがするのか期待感を持つようにする。</li> <li>・二回目は右手を大きく弾き、アの旋律を浮き彫りにし、3回目は左手を大きく弾き、イの旋律を浮き彫りにすることで聴き取りやすくする。</li> <li>・ア(2番)とイ(鍵盤ハーモニカ)を重ねて演奏し、響きの</li> </ul>	15'

<p>5 2つの川毎に発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1と3の川、2と4の川で発表する。</li> <li>・友達の発表を聴く。</li> </ul>	<p>面白さを感じ取るようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ア(1番、歌)→イ(鍵盤ハーモニカ)→ア(2番、歌)+イ(鍵盤ハーモニカ)の順番で発表するようにする。</li> <li>・歌う順番がわからなくなないように、全体で一度演奏して確認する。</li> <li>・友達の発表を聴くときは、音を出さないように、楽器を下に置くようにする。</li> <li>・友達の発表を聴くときは、アの歌は明るく弾むように歌えているか、イの鍵盤ハーモニカの伸ばす音は切れていないか、アとイが合わせるときに、お互いの音を聴いてずれていないか、に注目して聴くようにする。</li> <li>・お互いの演奏をよく聴くために、発表するグループと聴くグループが向かい合うようにする。</li> <li>・発表した後、どのようなところがよかったか2、3名に聞くことで、次の自分の演奏に繋げるようにする。</li> </ul> <div style="border: 2px solid black; padding: 10px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p>○音楽表現の創意工夫【演奏聴取】</p> <p>演奏したり、友達の演奏を聴いたりして、表現を工夫しようとする。</p> </div>	<p>7'</p>
<p>5 まとめ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本時を振り返る。</li> <li>・次回の授業内容を知る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本時の振り返りでどのようなことができるようになったか聞くことで、自分の成長を感じるようにする。</li> <li>・次回予告を行う。</li> </ul>	<p>3'</p>

8 備考 在籍児童数 35名